

平成 16 年 新春記者会見 骨子

1 昨年を顧みて

(1) 足利銀行の一時国有化の決定

- このような事態に至り，誠に残念
- 地域経済と市民生活への影響を最小限にとどめ，市民生活の安定を確保していくことこそ，現在の行政を担う我々に課せられた責務
- 県をはじめ，県内各市町村，経済団体などと連携を図りながら，この難局を乗り切っていきたい
- 皆様方のご理解とご協力をお願いしたい

(2) 国内外の情勢

- イラク情勢，テロリズムの多発，国民保護法制において地方公共団体に責務が課せられることが明らかになってくるなど，昨年ほど，国際平和をめぐる緊張の高まりを，身近なものとして強く感じた年はなかった
- 経済情勢については，消費低迷，厳しい雇用情勢など，景気の上向きを実感するには至らなかった

(3) 本市の情勢

- 都心部の空き店舗の解消が順調に進み，明るい兆しも見え始めていた矢先に，足利銀行の破綻があり，先行きは混沌としたまま年を越した

2 平成 16 年の意義付け

(1) 決意

- 昨年，市長として 2 期目の職責を担うことになった
- 今こそ，「誰もが安心して暮らせる，将来に明るい夢と希望の持てるまち」を実現していかなければならないと，固く心に決意し，身の引き締まる思いで，新年を迎えた
- まちづくりの基本理念である「市民都市の創造」に向けた歩みを，着実に進めるためには，市民と行政のそれぞれが，役割と責任を分かち合い，様々な課題を，迅速かつ効果的に解決していく必要がある

(2) 市政運営の基本

- 「総合計画改定基本計画」の着実な推進に努めるとともに，「市民と行政の協働によるまちづくり」，「成果とスピードを重視した行政経営」の 2 点を基本としながら市政運営にあたり，直面する課題などに的確，かつスピーディーに対応していく
- また，私自身が強いリーダーシップを発揮しながら，市職員の意識改革や弾力的な組織づくりに取り組むとともに，職員一人ひとりにも，市民の声に耳を傾け，厳しい時代環境を十分に認識させ，市民のニーズに的確に応える「市役所づくり」に，これまで以上に力を注いでまいりたい

3 平成16年の抱負

(1) 重点的な取り組み

地域における産業経済の安定・活性化と都市の活力の創出

- 足利銀行破綻の影響が大きく懸念されている
- 急遽，市金融危機対策本部を設置し，措置を講じた
「緊急景気特別対策資金」融資枠拡大，中小事業者向け「救済型資金」の新設等の金融対策
公共工事等における市内業者の受注機会の拡大等
- また，当面の対応策として，
公共工事における「中間前金払いの導入」，「ゼロ市債」の設定を含め，公共工事の前倒し発注などに取り組む
「雇用対策のための基金」を早急に新設し，「事業者への雇用助成」，
「失業者再就職支援」などにも取り組む
- 市議会としても，現下の社会経済情勢を厳しく受け止め，議員報酬の減額など，何らかの対応を検討する方向である
- 執行部としても，議会とも連携を図りながら，早急に，具体的に検討を進めていく
- 最重要課題である都心部活性化にも全力を挙げる
JR宇都宮駅東口地区整備事業
馬場通り中央地区再開発事業，拠点広場の創出，市民サービスセンター的機能，市民交流・活動機能などの整備
宇都宮城址公園の整備，歴史軸の景観整備
民間事業者による屋台横丁整備，旧公益質屋大谷石蔵を活用した賑わいづくりへの支援など

安全で，安心して暮らせるまちの実現

- 本市内の犯罪の発生件数は，増加の傾向をみせ，憂慮すべき状況
- 特に，子どもの安全を脅かす事件が，全国で後を絶たない状況にあり，本市でも取り組みを進めている
防犯パトロール隊，子ども110番の家の設置など
- 子どもたちをはじめ，すべての市民の安全確保に積極的に取り組む
学校現場における児童・生徒に対する指導強化
警察，行政，地域，学校などとの連携・協力体制の強化
防犯ブザーをすべての児童・生徒に配布
本市が取り組むべき施策のあり方や，効果的な防犯対策とその推進体制などについて，十分に検討を進め，平成16年度中を目途に，市民の安全を守るための条例の制定を目指す

市町合併に向けた取り組み

- 合併特例法の期限まで，あと一年余と迫り，いよいよ正念場を迎える
- いくつかの過程を経て，当面1市3町での合併を目指すこととなった
- 将来的には，宇都宮都市計画区域を核として「政令指定都市」を目指す

ことが望ましいが、現在の合併協議を、その第一段階として捉え、来年3月までの合併に向け、本年は、しっかりと足固めを行う

- 合併にあたっては、改めて地方自治の本旨を踏まえ、地域の個性と特性を生かした自立性の高い地域の創出に向け、その基礎を築く
 - 「地域自治制度の構築」、 「地区行政の推進」
- 市町建設計画を策定する中で、合併の目指す都市づくりについて十分検討を重ね、合併後の新市が早期に一体となり、地域の個性が十分に活かされる、誰もが住みやすい、活力あるまちとなるよう、全力を挙げて取り組む
 - 「都市計画道路の整備」、 「新交通システムの導入」などの総合的な交通ネットワークの構築
 - 「生活排水処理」、 「保育園の整備・機能拡充」などといった日常的な生活環境の充実
 - 「広域的・一体的な産業基盤の整備」をはじめとした「産業の活性化」など

(2) 新年度予算編成

- 歳入の確保が困難な状況にある中、足利銀行の破綻問題が及ぼす影響など、先の見えない状況にあるが、健全で安定した財政運営を基本としながらも、経済状況や雇用環境の推移を見ながら、機動的・弾力的な対応も視野に入れ、市民ニーズの高い分野の事業へと重点化・優先化を図り、「市民のための市政の実現」を確かなものにできる予算としたい
 - 「次代を担う青少年の健全育成」
 - 「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」など

(3) 新年度執行体制

- 経営の視点に立った事業執行を着実に推進できるよう再編
 - 上下水道局の設置
 - 保健福祉サービスを、より身近な場所で提供できる体制の整備
 - 政策研究センターの設立

4 むすび

- 21世紀型の新しい地方自治のモデルとして、他に誇れる、高いポテンシャルを有する「市民都市・うつのみや」を、市民と一丸となって創り上げていけるよう、努力を重ねる
- 本年もより一層のご支援、ご協力をお願いする